

杉の郷



2015年10月1日発行
社会福祉法人 美熊野福祉会
指定障害者支援施設 杉の郷

〒647-1214 和歌山県新宮市熊野川町赤木1522-1
TEL 0735-45-2314 FAX 0735-45-2001
メールアドレス sugi2001@za.ztv.ne.jp
ホームページ <http://www.za.ztv.ne.jp/sugi2001/>

ごあいさつ

指定障害者支援施設 杉の郷
施設長 川嶋 潤

の皆様に喜んでもらえるよう、そして、ご家族の皆様のご期待に副えるよう日々努力しています。

利用者様の日常活動としましては、散歩や体操による体力増進、ドライブや買物による地域参画、DVD鑑賞やカラオケによる余暇活動などが上げられます。

利用者様の活動や施設の運営には、地域の皆様の理解と協力が大変重要です。「杉の郷」と「地元」が共同でイベントを開催したり、施設の環境整備にご協力をいただいたり、地元の祭礼や行事に参加するなど協力関係を深めています。

地域の皆様やボランティアの方々に支えていただきながら、今後も、杉の郷及びグループホームは、利用者様が快適な生活をおくれるよう、また、ご家族の皆様の信頼を得られるよう取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力賜りますようお願い致します。

平素は、「杉の郷」に格別なるご理解、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

「杉の郷」は、昭和63年、「知的障害者更生施設」としてスタートし、平成20年には、障害者自立支援法により、「障害者支援施設」となり現在に至っています。入所定員は40名です。

また、「杉の郷」の近くに、グループホームとして「ホーム赤木」「ホームさんさる」「ほっとホーム」の3施設があり、各々7名、計21名が共同生活をしています。そのうち16名の利用者様が、昼間は「杉の郷」に通っています。残り5名は「障害児者支援センター 虹」へ通所しています。

私ども職員は、常に良質な福祉サービスを継続して提供することを念頭に、勉強会や研修会に参加するなど、支援意識・支援技術の向上を図り、利用者

社会見学旅行



今年度、杉の郷の旅行は、九州2泊3日、白浜1泊2日、名古屋1泊2日、那智勝浦日帰りの4つの班に分かれて実施いたしました。今回は名古屋1泊旅行をご紹介します。

平成27年7月16日（木）から17日（金）まで1泊2日で利用者様12名、ご家族様5名、職員9名、総勢26名で行ってまいりました。貸切バスで全行程を回っています。

初日はまず関ドライブインで松阪牛のすき焼き定食の昼食をいただきました。皆さん「美味しかった」と喜ばれていました。昼食後は、名古屋城を観光しています。新宮地方は台風接近で大雨でしたが、名古屋はほぼ晴れており良い天気でした。名古屋城観光後は、大相撲名古屋場所（愛知県体育館）を観戦しています。皆さん、ライブで力士の大きさや迫力など体感して大興奮して喜ばれていました。その後、ホテル近く（名古屋駅付近）の料理料亭に移動して、きし麺・味噌カツ等の名古屋名物満載の夕食を堪能しています。ホテルは名古屋駅にある一流ホテル・名古屋マリオットアソシアホテルに宿泊しています。立派なホテルだった為皆さん緊張していました。

2日目、朝食は、ホテルの豪華バイキングでした。何十種類もの料理があり、皆さん悩みながらも、それぞれ好きなものを選んで沢山飲食して楽しまれていました。朝食後は、名古屋港水族館に行く予定でしたが、和歌山県や三重県に台風が接近していた為、道路状況が悪くなる事が考えられたので、水族館をキャンセルして帰路についています。途中、大台道の駅で、美味しい松阪牛弁当をいただき、夕方無事杉の郷に帰って来ています。皆さん若干疲れていましたが、「よかった、楽しかった。」と喜んでくれました。

今回の名古屋旅行は、利用者様にとって大変良い経験になったと思います。社会資源を活用して新しい体験をする事で楽しさ、充実感、緊張感等を感じて、幸せな生活の実現へと繋がっていくと思われれます。満足感があり充実した名古屋旅行でした。

（生活支援員 福島 裕）



食事会



杉の郷では毎年3つのグループに分かれての食事会が催されています。今年は洋食レストランラハイナ・焼肉さかい・太地町の和食料理白鯨で実施しました。その中で私は6月18日（木）のラハイナの食事会に同行しました。利用者様も、出発前から楽しみにされていた様で、笑顔が見受けられました。メニューはハンバーグと車海老のフライのコースセットとステーキの豪華なコースセットでした。

食事中は皆さん上手にナイフやフォーク、スプーンを使い美味しく召し上がりました。食後も笑顔で美味しかった等の言葉も聞かれ、嬉しく思いました。今後も利用者様が外出する機会を増やし、楽しめる取り組みを行っていかねばと思いました。

（生活支援員 上中 啓寿）

熊野川中学校との交流会

6月19日（金）熊野川中学校1年生の生徒さん方と交流会を行いました。共同作業で貼り絵を制作したり、ボウリングや輪投げをして楽しみました。

（生活支援員 吉永 智子）



～より良い支援を目指して～

勉強会を行いました

脱水が招く「熱中症対策」と下剤に頼らない排泄コントロール「排泄ケア」勉強会を7/10（金）と8/19（水）に各食品メーカーの御協力により、講師をお招きし、行いました。杉の郷では、支援する側が、高い専門知識を得る事で、よりレベルの高い支援、利用者様の体調、健康管理の保持にも繋がっていく事だと考えています。

夏が近くなると毎日のように、テレビでは「脱水」「熱中症」という言葉を耳にします。「熱中症対策勉強会」以降の取り組みとして、発熱時、野外活動時（川遊び等）には脱水予防として、スポーツドリンクからナトリウム含有の経口補水液に置き換え飲んで頂きました。結果、利用者様全員が暑い夏を大きく体調を崩す事無く、無事乗り切る事ができました。

もう一つの「排泄ケア（下剤に頼らない排泄コントロール）勉強会」以降の取り組みとして、長年の課題である下剤、浣腸に頼らない自然排便を目標としてあげました。利用者様によっては、長い間、頑固な便秘により、自然排便が困難な為、下剤、浣腸に頼らざるを得ない日々が続いている方がいます。今回排泄コントロールには、お腹の調子を整える「乳果オリゴ糖」を毎日お茶もしくはコーヒーに入れて飲んで頂きます。オリゴ糖の作用により腸内のビフィズス菌が適正に増え、便通の改善、免疫力の改善に繋がり、下剤、浣腸の回数が少しでも減り、利用者様の身体の負担が軽減され、良い結果に繋がっていく事を信じ、職員全員で取り組んでいきたいと思えます。（栄養士 野尻佳美）

簡単な脱水が分かる方法
指で爪の先を軽く押す



2秒以内に赤みが戻らない場合は水分不足と考えられる

ホームさんさろ

各ホームそれぞれのスタイルでマイ生活をしていただいておりますが、今年度も地域やホームの行事、利用者様の個別外出やお楽しみ等、たくさんのメニューを用意いたしております。今年度のグループホームの行事を紹介します。

今年度のホームの旅行は、杉の郷と合同で開催させていただきました。5月に長崎・福岡旅行2泊3日（GH5名）、6月に白浜旅行1泊2日（GH4名）、7月に名古屋旅行1泊2日（GH9名）、那智勝浦日帰り旅行（GH3名）でした。ホームだけで行く旅行とは異なり、杉の郷の利用者様やご家族の方々ともお話ができ、楽しい旅行だったと思います。

5月 3つのホーム合同で5月10日（日）熊野市「山崎運動公園」「熊野倶楽部」へ出かけました。昼食は個々に好きな料理を選べるバイキングスタイルで、自由に選んで食べていただきました。その後、広大な自然に恵まれた敷地内を散策し、露天風呂もあるお風呂にゆったりと入ってきました。



のびのび散策「熊野倶楽部」



本日のお点前はいかが！



各ホームでは、余暇支援としてカラオケやドライブ、個別外出（買い物、食事、温泉）を実施し、女子はお茶クラブ、調理実習も行っております。

当初グループホームへの入居は軽度の方が中心でしたが、重度の方も近年利用されるようになりました。それにともない、支援する側も介助から介護へとよりスキルが求められるようになり、世話人さんにも各種の研修会（発達障害研修、介護実技研修等）に参加して頂いております。

今年度も三つのグループホーム（事業所名「ホームさんさろ」）として、利用者さんの個人的な要望にも応えられるよう、日々細かな支援に努めていきたいと思えます。

（サービス管理責任者 菊谷 正輝）

7月 近くの清流赤木川で7月25日（土）川遊びを行ないました。ちよっぴり冷たい川に浸かり、強い日差しに日焼けした利用者様も出ました。楽しいお弁当タイムとスイカ割りゲームも行いました。



清流 赤木川で川遊び

10月 10月31日（土）県グループホーム利用者の交流会（「日高川ふれあいドーム」でバーベキュー）等が予定されています。

今後ご支援を

美熊野福祉会後援会 会長 寺本静生

平素は美熊野福祉会後援会の活動に対しまして格別のご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

美熊野福祉会後援会では、「社会福祉法人美熊野福祉会」が運営している施設をご利用いただいている方々へ、ご満足いただけるサービスを提供するために、みなさま方に後援会へのご協力をお願いしてまいりましたところ、昨年度は232件、1,257.5口のご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

支援費について、国は毎年改正を行い改善しようとしているものの、その改善は「加算」という形で実施されています。条件を満たせば収入を多くしましょう。というものです。加算ということは、いつでも取り消しが可能で、実際に延長されたものの、平成26年度で廃止される加算がございました。

このように流動化する国の施策の中で、懸命に利用者支援に取り組んでいる社会福祉法人美熊野福祉会の事業を応援するため、後援会では、今後も引き続き資金づくりに取り組んでまいりたいと存じます。皆様方のご支援をお願い申し上げます。

美熊野福祉会後援会 平成26年度会計報告

（単位：円）

収入		支出	
会費	1,257,500	振込手数料	23,150
前年度繰越金	5,784	印刷代等	10,619
		美熊野福祉会へ寄付	1,229,000
収入合計	1,263,284	支出合計	1,262,769

差引残高 515円（次年度へ繰越）

美熊野福祉会後援会にご協力ください

年会費一口 1,000円 何口でも結構です
郵便振替をご利用の方は下記口座までお願いします
口座番号 00920-1-309486
加入者名 美熊野福祉会後援会
振込用紙は本部及び各施設にごございます

